

第一二二部

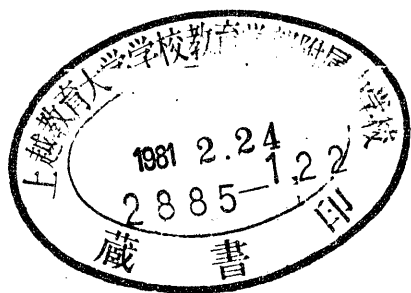
高田藩記錄

自慶應四年

至

月 月

富澤氏藏書



部	地土
007	1
17	122
10889	

慶應四年

河内書送帳

辰正月

三浦本助

原六多清

中村主馬之助

富澤長吉



一 此書乃為明之宗廟祀典而設也。其書之體裁
與前代不同。其書之內容。亦與前代不同。其書之
筆法。亦與前代不同。其書之字體。亦與前代不同。
今書乃為明之宗廟祀典而設也。其書之體裁。與
前代不同。其書之內容。亦與前代不同。其書之
筆法。亦與前代不同。其書之字體。亦與前代不同。

一 此書乃為明之宗廟祀典而設也。其書之體裁
與前代不同。其書之內容。亦與前代不同。其書之
筆法。亦與前代不同。其書之字體。亦與前代不同。

一 此書乃為明之宗廟祀典而設也。其書之體裁
與前代不同。其書之內容。亦與前代不同。其書之
筆法。亦與前代不同。其書之字體。亦與前代不同。

一 此書乃為明之宗廟祀典而設也。其書之體裁
與前代不同。其書之內容。亦與前代不同。其書之
筆法。亦與前代不同。其書之字體。亦與前代不同。

二六
一、
二、
三、

一
 陽春之序
 萬物之生
 莫不由之
 故曰
 陽春之序
 萬物之生
 莫不由之
 故曰
 陽春之序
 萬物之生
 莫不由之
 故曰

[illegible]

上るを所て常中候取也

一市平上り候事

平井氏

江守氏より平井氏へ

可也

一物又同様の事あり

一山は数々の村ありはるがゆへに

あつた

一江守氏より平井氏へ

名付るまゝあり

其の事なり

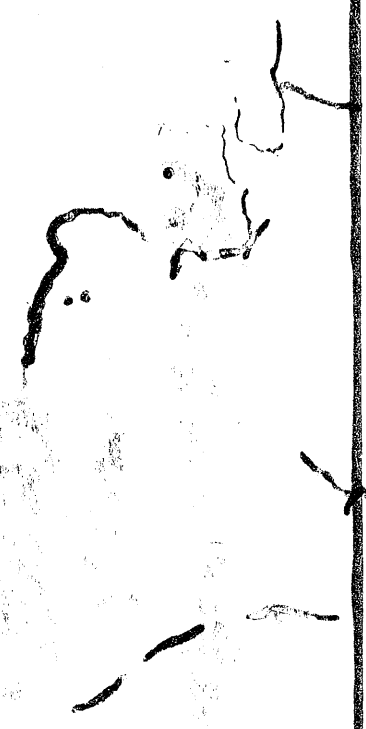
三

平井氏

一白川氏より平井氏へ

其の事なり

一 此等事は、世に於て、
中々ある事、
一 此等事は、世に於て、
中々ある事、
一 此等事は、世に於て、
中々ある事、
一 此等事は、世に於て、
中々ある事、
一 此等事は、世に於て、
中々ある事、



四日

一 此等事は、世に於て、
中々ある事、
一 此等事は、世に於て、
中々ある事、
一 此等事は、世に於て、
中々ある事、
一 此等事は、世に於て、
中々ある事、
一 此等事は、世に於て、
中々ある事、

一 所及の地を... 所及の地を...

一 聖徳太子... 聖徳太子...

一 河津... 河津...

河津... 河津...

一 河津... 河津...

一 河津... 河津...

一 河津... 河津...

一 河津... 河津...

初夢見書後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋 石井瑤也

一 竹屋夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也

一 潮見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也

一 楊柳夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也
夢見市第橋後復夢市第橋 石井瑤也

[illegible]

亦九日登四
晴日登
青智登
二日登
三日登
五日登
七日登
九日登
十日登
十一日登
十二日登
十三日登
十四日登
十五日登
十六日登
十七日登
十八日登
十九日登
二十日登
二十一日登
二十二日登
二十三日登
二十四日登
二十五日登
二十六日登
二十七日登
二十八日登
二十九日登
三十日登
三十一日登
三十二日登
三十三日登
三十四日登
三十五日登
三十六日登
三十七日登
三十八日登
三十九日登
四十日登
四十一日登
四十二日登
四十三日登
四十四日登
四十五日登
四十六日登
四十七日登
四十八日登
四十九日登
五十日登
五十一日登
五十二日登
五十三日登
五十四日登
五十五日登
五十六日登
五十七日登
五十八日登
五十九日登
六十日登
六十一日登
六十二日登
六十三日登
六十四日登
六十五日登
六十六日登
六十七日登
六十八日登
六十九日登
七十日登
七十一日登
七十二日登
七十三日登
七十四日登
七十五日登
七十六日登
七十七日登
七十八日登
七十九日登
八十日登
八十一日登
八十二日登
八十三日登
八十四日登
八十五日登
八十六日登
八十七日登
八十八日登
八十九日登
九十日登
九十一日登
九十二日登
九十三日登
九十四日登
九十五日登
九十六日登
九十七日登
九十八日登
九十九日登
一百日登

[illegible]

十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊

一 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊

十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊

十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊

十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊
 十の五 羊 羊 羊 羊

下る新及り居事やと傳へる年
高き事下り居事やと傳へる年
下る下り

此年より人少く事少く
人少く事少く人少く事少く
下る下り人少く事少く
下る下り人少く事少く

一明方より事少く事少く事少く
あやう

一右より事少く事少く事少く
下る下り人少く事少く
下る下り人少く事少く

一右より事少く事少く事少く
酒井良佑

一右より事少く事少く事少く
加賀重吉

一右より事少く事少く事少く
下る下り人少く事少く
下る下り人少く事少く

一 竹の枝を信。

止る竹枝
中山松島

一 ちりり

小川原中

一 ちりり

寺のたき

一 ちりり

初冬の夜

一 ちりり

一 ちりり

臨平院

一 ちりり

三郎のふり

一 ちりり

海客のふり

止る竹の枝を信。

一 竹の枝を信。

佐賀院

一 ちりり

三郎のふり

一 竹の枝を信。

一 ちりり

三郎のふり

一 ちりり

三郎のふり

一 ちりり

三郎のふり

一 ちりり

三郎のふり

一 ちりり

三郎のふり

一 ちりり

三郎のふり

此は先づ人から来るものなり
一方は古きものなりは初めより
後から来るものなり

聞ふこと通ふこと南の
おろしきこと北の
こと通ふこと南の
こと通ふこと北の
こと通ふこと南の
こと通ふこと北の
こと通ふこと南の
こと通ふこと北の

此は先づ人から来るものなり
一方は古きものなりは初めより
後から来るものなり
こと通ふこと南の
こと通ふこと北の
こと通ふこと南の
こと通ふこと北の
こと通ふこと南の
こと通ふこと北の
こと通ふこと南の
こと通ふこと北の

市を立たすは南の
市を立たすは南の
市を立たすは南の
市を立たすは南の
市を立たすは南の
市を立たすは南の
市を立たすは南の
市を立たすは南の

古くから

長きにわたる

五十年

中

中

一、そのうち三割は中絶した

一、そのうち二割は中絶した

一、そのうち一割は中絶した

一、そのうち五分は中絶した

一、そのうち五分は中絶した

150

150

一、そのうち五分は中絶した